

「正解のない問い」に挑む子供達！

今年は、雪の多い日が続き、朝夕何かと心配が多いことだと思います。そんな中、「かじは雪が多い方がよいとばかり」、冬季オリンピックが開催され素晴らしい演技や競技が繰り広げられています。選手は、四年に一度のオリンピックに向かって、「何をすればよいか」それこそ、一人一人が「正解のない答え」に対して挑戦していることだと思います。人は、基本トレーニングを積むことを中心に練習する。また、ある人は今シーズンになつて新しい曲で演技に挑戦する。また、ある人は競技直前に難度を高くして挑戦する。失敗があるかもしれないけど、それそれが、「自分の考え方」を感じて挑戦しています。

さて、近年、宇宙探査機が月への着陸に挑戦したり、新しい技術が次々と生まれたりと、「正解のない問い」に立ち向かう大人たちの姿も目立ちます。彼らと共に通しているのは、失敗を恐れずに「自分の考え方」を感じて一步踏み出す勇気だと言われています。子供達も、「周りの言動に合わせる」と「安心」を得ることもあるつかと思います。しかし、「自分はどうしたいか」を自分に聞いかけ、自分から動くことで、今後の景色は必ず変わると感じます。

今年度、「自由な発想からスタート」「自信をもつて挑戦しそう」「自分の言動で表現しよう」という「三自大作戦」を意識して活動してくれた子供達です。残り一ヶ月余りの今の中年、より充実したものになるよう、様々な「正解のない問い」に自分の考え方を振り絞って自分なりの「答え」を出してほしいと思います。それは、他の人と同じでなくともいい「自分色の答え」であってほしいと思います。

暦の上では春を迎えたものの、「ここ」神石ではまだまだ寒い日が続いているのですが、子供達は元気です。雪が降つていれば外で遊びます。そんなどましさを備えあわせていく子供達の「自分の力で『正解のない問い』に挑む力」を感じ応援していきたいと思います。

校長 田丸 栄

